

# 中央地区の連携状況



## 1 連携状況の概要

管内では、様々な場面で、学校と地域が一体となった活動が行われている。両者が連携し、子どもたちや地域の教育力を高めるための大きな原動力となっている。

今回は、管内の取り組みの中から、安全見守り活動とコミュニティまつり（地区文化祭）を一例ずつ紹介する。

## 2 学校・地域の相互協力の事例

### (1) 安全パトロール隊の活動（八郎潟町）

#### ○活動の出発点

平成15・16年、近畿地方で子どもに対する様々な凶悪事件が多発し、16年には八郎潟町でも不審者情報、声かけ事案が6件発生。この現実を踏まえ、未然に事件や事故を防止しようと、地域住民が五城目署、学校、PTAと勉強会を繰り返し開催した。平成17年4月に、「安全パトロール隊」を結成し、活動を始めた。

#### ○活動の基本

- ・「地域の安全・安心は地域の手でつくろう」
- ・「かたひじはらずに まず できることから」「できる人で」

#### ○活動時間

- ・特別班・・・小学校低学年下校時間（14：30～15：30）
- ・普通班・・・スポ少、部活帰り（18：00～20：00）

#### ○活動チーム

- ・町内会役員、老人クラブ（平成会）、婦人会、子供会親の会（1週交代）

#### ○活動の成果

- ・4年間で不審者情報や声かけ事案が1件もない。
- ・行き交う子どもたちと挨拶や明るい会話ができ、学校との距離も近くなった。
- ・学校行事に地域をあげて参加しており、住民の楽しみとなっている。
- ・環境整備、健康増進、情操教育、安全・安心まちづくりに対する関心が高まった。

### (2) 南内越地区コミュニティまつり（由利本荘市）

○由利本荘市南内越地区の「南内越コミュニティ振興会」が主催。地域の保育園、小・中学校及び高等学校と連携し、公民館と体育館を会場に毎年11月上旬に開催している。

○学校等に関する内容は次の通りである。

- ・地区児童生徒の作品展示
- ・保育園児による歌とおゆうぎの発表
- ・小学校吹奏楽部によるミニコンサート開催
- ・地区児童生徒対象の書道コンクール表彰式の実施
- ・由利高等学校民謡部の公演開催 他

○小学校では、毎年子どもたちの作品が掲示されることを意識し、計画的な作品制作と保管、提供に努めている。

○各校種からの発表は、児童生徒にとって貴重な学習成果披露の場となっている。

○地区内に県立大学があることから、現在、様々な分野で交流を図っている。保育園から大学まで一体となった地域づくりを目指しているところである。



<書道コンクール表彰式>

## 3 これからに向けて

- ・連携事業は、学校からの要請で地域が動く、あるいはその逆で実施されることが多く、両者が一体となって事業を推進する例はあまりない。今後、連携をさらに深め、事業を活性化していくためには、双方をコーディネートする人材の確保や情報交換を行う機会の設定が必要になると思われる。
- ・ライフスタイルの変化や少子化等、様々な理由で継続が難しくなっている事業も多い。また、新たな取り組みをする際に、形式的な活動に終始してしまうことも少なからずあるようである。学校や地域の実態を踏まえた上で、無理の無い形で実施することが重要になってくる。